

大阪医科薬科大学病院

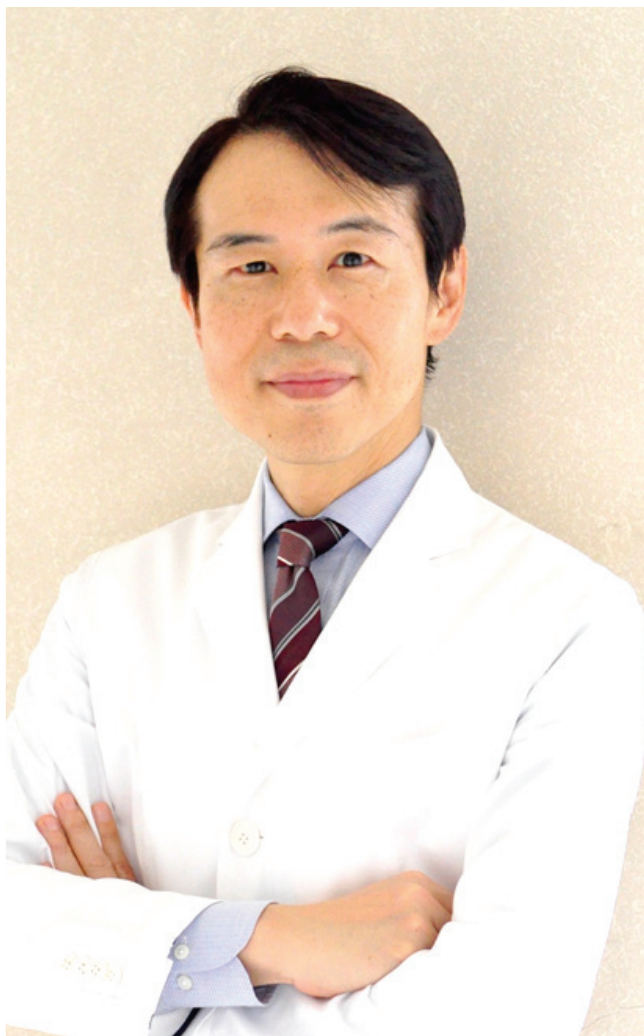
総合診療専門研修プログラム

家庭医療専門研修プログラム

2025

大阪医科薬科大学病院総合診療科の 指導医・専攻医 紹介

！ 皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木富雄です。



大阪医科薬科大学
医学部総合診療医学教室
地域総合医療科学寄附講座 教授
大阪医科薬科大学病院
総合診療科 科長

【略歴】

名古屋大学医学部卒業。
名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、
2014年9月より、大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）地域総合医療科学寄附講座特任教授、
大阪医科大学附属病院（現大阪医科薬科大学病院）総合診療科科長。
2024年 総合診療医学教室教授。

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医
総合診療専門研修指導医

「Dr. 鈴木 の 13 カ条の原則で
不明熱に絶対強くなる」(羊土社)
を 2015 年 4 月に発行。



みなさんこんにちは。大阪医科薬科大学病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。
大阪医科大学は2021年4月に大阪薬科大学と統合して大阪医科薬科大学となり、本プログラム名も「大阪医科大学附属病院 総合診療専門研修プログラム」から「大阪医科薬科大学病院 総合診療専門研修プログラム」に変わりました。

当プログラムでは現在、卒後3～6年目の専攻医13名、大学院生2名が在籍し、日夜診療、教育、研究に励んでいます。家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる「あなたの専門家」でありたいという強い思いです。彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。医局でたくさんのお菓子と素敵な秘書がお待ちしております。

病歴と身体診察を基本とし、
患者の思いに応えられる
本物の総合診療能力を獲得



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

あなたの専門家

になるための3つの特徴

院内から全国に広がる
濃密なネットワークを駆使し、
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての
生涯に渡る
成長と学びの方略を確立

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- ・カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ・ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ・ベットサイド教育を通じて的確な診察手技をマスター
- ・丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- ・最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢

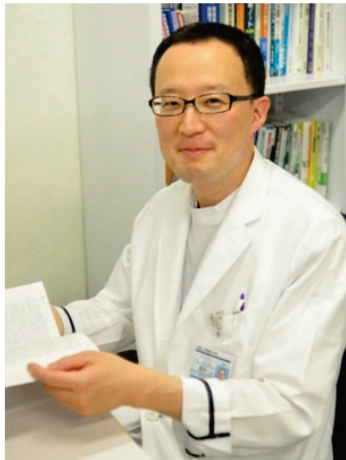
院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援

- ・診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- ・大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- ・小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- ・卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ・ワークライフバランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- ・定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ・ストレスフルな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ・ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- ・成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- ・生涯にわたり成長する省察的实践者としての個人をサポート

島田 史生



医学部総合診療医学教室
地域総合医療科学寄附講座 助教
総合診療科 筆頭医長

総合診療専門研修指導医/総合内科専門医/神経内科専門医

私は大学を卒業して市中病院で研修を受けた後、内科系専門医として働いてきました。でも、ずっと「総合診療医として幅広い患者さんを診たい」という思いがあり、卒後13年目に専攻医としてもう一度チャレンジする道を選びました。そして2017年4月から本学でお世話になっています。

こちらでは、「ドクターG」こと鈴木教授をはじめ、情熱あふれる指導医の先生方、個性豊かなレジデント仲間、さらに頼りになる秘書さんたちに支えられながら、診療、教育、研究に取り組んでいます。研修医や学生の指導にも力を入れていて、一緒に成長していけるのが大きなやりがいです。

また、大学外でも地域医療に関わっていて、高知県本山町では4年間、毎年4ヶ月間出向し、今は週1回、兵庫県神河町の神崎総合病院で診療しています。こうした活動を通じて、当講座が大切にしている「地域医療への貢献」にも力を注いでいます。

当科で診る患者さんは、bio-psycho-socialの視点で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合診療医としての力が試される毎日です。そんな中で、レジデントの先生方と一緒に悩んだり、考えたりしながら、日々診療にあたっています。

この場所で、総合診療の魅力や面白さをたくさん感じてもらえると思います。ぜひ一緒に学び、成長していきましょう！

三澤 美和



医学部総合診療医学教室
地域総合医療科学寄附講座 助教
総合診療科 医長

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医 総合診療専門研修指導医/総合内科専門医/糖尿病専門医

診療医長の三澤です。市中病院で糖尿病内分泌内科・内科全般・救急・健診業務など幅広く仕事をし、弓削メディカルクリニックで家庭医療後期研修を修了して家庭医療専門医、糖尿病専門医を取得し、大阪医科薬科大学には2016年4月当科に赴任しました。とうとう大阪に来て10年目になりました。大学病院における総合診療科は実に多岐にわたる訴え、病態に向き合います。ICUで最重症の状態を管理することあれば、一般病棟では感染症から不明熱まで多彩な臨床像に出会い、外来では心理社会背景が大きな影響を与えている患者さんとの出会いが続きます。細分化された臓器別の診療では解決できないような健康問題に向き合い、患者さんや家族にとってどうすることが本当に幸せなのか考えていく過程は総合診療医という専門性のやりがいを感じ、とても充実していると毎日感じています。

この10年でプログラム卒業生が数人、家庭医療専門医や総合診療専門医を取得しました。こうして地道に後進を育てていけることも楽しく感じます。在籍するレジデントたちは個性豊かで、カンファレンスでの白熱するディスカッションの一方で、いつも医局には笑いが絶えません。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、医局にいるママさん医師もパパさん医師もみんな両立に奮闘しています。それぞれの働き方を一緒に考えていける場所でありたいと思っています。プライマリ・ケアはこれからの日本の健康問題を支える大きな柱です。不安もあるかもしれませんが、臓器別ではなく患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にしたい診療を目指したい人、医局で一緒にわいわい勉強したい人、どんな方でも歓迎します。医局の中まで皆さんをお待ちしています。

橋本 忠幸



医学部総合診療医学教室
地域総合医療科学寄附講座 助教
総合診療科 医員

総合内科専門医/救急科専門医

私は橋本忠幸と申します。2021年に12年ぶりに母校の大阪医科薬科大学に戻ってまいりました。今までは福岡の飯塚病院と和歌山の橋本市民病院で、病棟管理と医学教育を専門としてトレーニングを受け、今もその2つを中心に働いています。病院で働く総合診療医には、病棟の管理も重要なスキルとなります。大学病院ならではの診断が難しい症例の対応だけでなく、マルチモビリティ（多併存疾患）をいかに整理するか、なども日々学ぶことができます。

医学教育に関しては、主に若手指導医育成を中心に研究や育成プログラムの作成や実践などをしております。

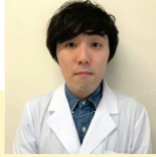
当科は若いスタッフや専攻医も多く在籍しています。新しい専攻医となる皆さんにも近い指導医となってくれると思います。もちろん鈴木教授をはじめとしたベテラン指導医もいます。ベテランならではの渋い指導を十分受けられます！

またアメリカの公衆衛生大学院の修士課程も卒業しているので、研究に興味がある人にもアドバイスはできると思います。医学教育研究もやっているので、医学教育を突き詰めたい方も、是非研究に興味のある方は一緒に研究しましょう。

2023年9月からアメリカはボストンにあるハーバード医科大学の連携病院のBrigham and Women's Hospitalに留学しています。こちらでは色々な人に会って研究の相談をしたり、色々な授業に出たりしています。留学に興味のある方がいれば、是非ご相談ください。

Staff

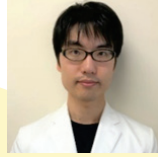
Sumitomo Saneyuki
住友 嗣之



大学院生/特命助教
出身大学：大阪医科薬科大学

2016年に入局いたしました住友嗣之です。
現在は大学院に在籍し、副腎不全をテーマに学位論文を投稿いたしました。研究開始当初は、学位論文の執筆は非常に長い道のりに思いましたが、月1回のリサーチミーティングで小さな目標を設定し、進捗管理をしていただいたおかげで、何とか形にすることができました。
本年度は学位審査に向けて準備中です。外来、病棟、ER当直などの業務もありますが、研究に専念できる時間を設けていただけたことも、非常にありがたく感じております。
個人のニーズに沿った研修・研究が実現できる環境だと思います。ぜひお気軽にお問い合わせください。

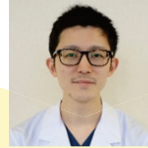
Sekine Kazuomi
関根 一臣



大学院生
出身大学：大阪医科薬科大学
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

上級医の指導の賜物で専攻医終了と共に専門医を、翌年度には認定指導医を取得できるなど、とても恵まれています。大学院では、理想的な医学教育の在り方を模索する中で、医学生と患者さんとの関わりについての研究を練っています。毎月末にあるリサーチミーティングではZoomなども利用し密を避けつつ白熱した議論を交わすことができ、他の先生の考え方や研究などとてもいい刺激になります。是非、一度遊びに来てください！

Shigetome Kazuki
重留 一貴



特命助教
出身大学：大阪医科薬科大学
総合診療専門医

医師10年目の重留です。市中病院で研修後に入局しました。5年目までは1年半大学、1年半高知で地域研修していました。去年で小児科や救急研修も修了して、総合診療専門医を取得し、新家庭医療専門医試験を今年受験します！医局の雰囲気もよく、教育的にも確実にステップアップできる環境だと思うので見学などいつでも来てください。

Shirota Shogo
城田 祥吾



特命助教
出身大学：名古屋大学
内科専門医

卒後10年目になりました、城田と申します。縁あって、2024年度からスタッフとして入局しました。神戸で初期研修後、栃木、隠岐の島、京都など様々な場所で内科研修を行った後、昨年度までは神戸市立医療センター中央市民病院の総合内科に在籍していました。
私はジェネラリストでも診療の武器にできるエコーの研鑽を積んでおり、一般的な心、腹部エコー、血管エコー以外に関節、筋、神経など、様々な場所をエコーで評価し、穿刺や局所注射を行うことができるようになりました。CTやレントゲンがない場所や、移動が難しい患者など、多くの場面で役立つエコーも使いながら、奥深く幅広い総合診療を学んでいきたいと思います。

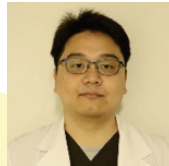
Sho Ishoda
磯田 翔



特命助教
出身大学：滋賀医科大学
総合診療専門医

2021年4月入局しました磯田翔です。
診断における思考過程の言語化と戦略化を通して、より多くの患者さんに貢献することを一つの目標としています。そのために、推論や意思決定の学術的ルーツである認知心理学を、文系心理学系の大学院で学んでいます。1人1人の興味や夢に沿った進路のサポートに当科は積極的です。当科には他にも家庭医療、病院総合診療、医学教育、感染症、緩和、精神など様々な指向性を持ったスタッフが在籍しています。また脳神経内科、糖尿病、産婦人科、救急など様々な専門資格を持ったスタッフが在籍しています。総合診療は他分野や他科との相性がよく大きな可能性を秘めていると思います。当科は1人1人の希望や夢を全力で応援しています。そんな当医局に興味を持った方は是非、気軽に見学にいらしてください。お待ちしております。

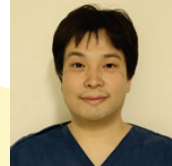
Yohei Kawagushi
川口 洋平



特命助教
出身大学：福井大学

医師9年目の川口洋平です。
大阪医科薬科大学総合診療科で地域医療や訪問診療、診断学と幅広く学ばせていただいています。commonな疾患からrareな疾患まで。退院後の生活にまで焦点を当てる診療を行っております。
医局の雰囲気も大変よく、アットホームな医局です。
少しでも総合診療に興味があれば是非一度見学に来てください。お待ちしております。

Hajime Mizutani
水谷 肇



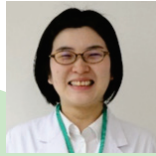
特命助教
出身大学：大阪市立大学
総合診療専門医

2020年入局の水谷肇です。当科はcomplexでrareな大学病院らしい患者さんを診察する一方、ERからは毎日のようにcommonな疾患による入院があり、あらゆるベクトルの疾患をバランス良く診られるという特徴があります。今年度もまたたくさんの新しい先生方の入局がありました。初期研修医や学生さんも全員がローテートしてくるので医局の賑やかさも随一と思います！みんなでわいわい楽しく仕事したい方、ぜひ一度見学においでください！

Resident

Ritsuko Mizuno

水野 律子

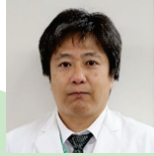


レジデント/専攻医
出身大学：大阪医科薬科大学

私は医学部卒業後、他の市中病院で2年間の初期研修を終え、母校である大阪医科薬科大学総合診療科の専攻医として2023年度入局しました。一度別の学部を卒業し社会人として勤務していましたが、医学部を再受験し医師へ転職しました。私だけでなく、色々な背景をもつ個性豊かなメンバーが協力し合って診療にあたり、多様な観点で臨床上の問題に取り組んでいます。また、私は2人の子供を持つ母でもあり、仕事と育児の両立に日々奮闘しています。まだまだ小さくて手がかりますが、チーム体制が整っていることと、先生方の深いご理解のおかげで本当に充実したワークライフバランスを保つことができています。ぜひ一度見学に来ていただき、この熱心で楽しい雰囲気を感じてもらいたいです。お待ちしております！

Atsushi Nakanishi

中西 篤史

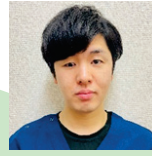


特命助教/専攻医
出身大学：防衛医科大学
日本産婦人科学専門医

2024年4月から大阪医科薬科大学総合診療科に専攻医として入局いたしました、中西篤史と申します。2007年に卒業し、今年で医師として17年目になりました。これまで産婦人科医として、主に周産期医療に取り組んできましたが、一念発起しジェネラリストを目指すことにしました。もともとジェネラリストには関心があり、小児科なら全身を診ることができると考え小児科を志望しましたが、病院実習で分娩の素晴らしさに魅せられ周産期の世界に飛び込みました。周産期医療をやりつくしたわけではありませんが、この年齢になりもう一つの夢であるジェネラリストを目指すなら最後のチャンスと思い、ダメもとで鈴木先生の教室の門を叩いたところ、受け入れていただけることになり大変感謝しております。目の前の患者さん、「あなたの専門家」であり続けられるよう、日々努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いたします。

Sohta Nishimura

西村 壮太



レジデント/専攻医
出身大学：兵庫医科大学
救急専門医

医師7年目の西村壮太です。初期研修終了後、救急科専門医取得し、入局させていただきました。救急科での研修では、疾患や重症度によらず、急性期治療を学びました。総合診療科では、救急とオーバーラップをするところもあると思いますが、臨床推論を中心により深く患者さんのプロブレムを解決できるように研鑽しています。このようにダブルボード取得含め、様々なキャリアプランに対応していただけます。是非一度見学に来てください。

Yuhki Omura

大村 祐希

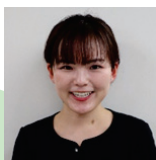


レジデント/専攻医
出身大学：大阪医科薬科大学

私は大阪医科薬科大学を卒業後、同院で初期研修を終了し、そのまま総合診療科に入局しました。学生の頃より医局にはお世話になっており、その居心地の良い雰囲気が好きでそのまま残ってしまいました。私は昔から患者さんの抱える「不安」を少しでも減らしてあげられるような医師になりたいと思っていました。総合診療科は患者さんの「疾患」中心ではなく「訴え」中心にアプローチすることができる診療科だと思います。自分の理想を実現できる科だと考えています。総合診療科という広く広いイメージがあるかもしれませんが、ここでは総合診療科の深みである「専門性」も身に付けることができと思っています。興味がある方は是非見学にお越しください。一緒に総合診療専門医を目指しませんか？

Mayu Omori

大森 麻由



レジデント/専攻医
出身大学：近畿大学
兵庫県公立神崎総合病院 研修中

総合診療科では、診断のついていない初診患者さんや初期の救急患者さんの診療にあたっています。身体の中の臓器の問題なのか明らかでない場合や多彩な症状などで受診する診療科が明らかでない患者さんを、総合的に診療して、必要に応じて院内専門科をご紹介したり、継続して総合診療科で診療も行っています。単一臓器を主体に診るより「その人」全体を診て、様々な症状に対応できる総合的な診療能力を身に付けたいと思い、入局しました。また、ワークライフバランスにも配慮してもらえ、サポート環境があることも入局の決め手となりました。マンツーマンの指導医による丁寧なレビュー、チームメンバーの協力体制で、相談をしながら診療を進めており、医局の雰囲気はとても良いです。鈴木教授をはじめとし、ベテラン秘書の方がおられ、気さくで親しみやすい先生ばかりなので、一度その雰囲気を見に来てください。一緒に仕事ができる日が来てくれれば嬉しいですよ。

Rio Shimizu

清水 理央



レジデント/専攻医
出身大学：福井大学
産休中

2024年4月に入局した清水です。福井大学を卒業後市中病院で初期研修を行い、3年目の春から大阪医科薬科大学病院総合診療科に飛び込みました。毎日の回診で身体診察が鍛えられますし、カンファレンスも毎日密にあるため自分の症例についても逐一相談しやすい環境です。多種多様な疾患の入院患者さんがいて新しい学びが沢山あります。また家庭との両立にもとても寛容な職場で、私は本年5月から産休に入り、来年4月に復帰予定です。ぜひ一度見学に来ていただき、4月には医局員としてお会いしましょう！お待ちしております。

Takeshi Matsushita

松下 武史

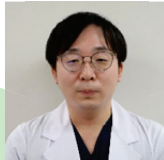


レジデント/専攻医
出身大学：大阪医科薬科大学

専攻医2年目の松下武史です。大阪医科薬科大学を卒業し市中病院で2年間初期研修を行った後、2024年に当科に入局しました。入局から1年が経ち、大学病院ならではの難診断症例や多プロブレム症例の病棟マネジメントに引き続き奮闘しながらも、少しずつ専攻医としての視野も広がってきた実感があります。明るく指導熱心な医局の先生方のサポートのもと、患者さんに対して主体的に責任を持ちながら、日々の診療の中で疑問点を気軽に相談・ディスカッションできる環境にとても助けられています。毎月ローテートする研修医や医学生の皆さんと一緒に学び合い、賑やかで前向きな雰囲気で成長を感じられる日々です。凄腕の秘書さんに見守られ、学び溢れ！笑い声絶えず！患者ファースト＆ワークライフバランスもファーストな医局の雰囲気を、ぜひ一度見学に来て体感してみてください！お待ちしております！

Tatsuya Matsumura

松村 竜也



レジデント/専攻医
出身大学：大阪医科薬科大学
高知県くぼかわ病院 研修中

2024年4月に入局しました専攻医2年目の松村です。後期研修1年目の前半は大阪医科薬科大学病院で救急当直や一般外来、病棟業務を数多く経験しました。後半からは高知県の四万十町のくぼかわ病院で1年間地域研修を行っています。高知では大学病院とは異なり、慢性期の疾患を中心とした外来や訪問診療を多く経験しています。地域密着型の病院でもあり、まさに地域医療を肌で感じているところです。大学病院とは違い、専門家やスタッフも少ない中で判断することは難しいことも多いですが、優しい人々に囲まれながら日々診療に当たることができています。高知で得られた経験を帰ってから活かすことができるように日々精進を続けていきたいと思っています。大学病院へはぜひ見学にいらっやってくださいね。

Resident

Akari Abe

阿部 明香里

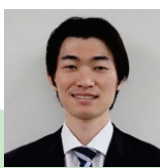


レジデント/専攻医
出身大学：大阪医科薬科大学

2025年に入局しました阿部です。大阪医科薬科大学卒業後、同院で研修し、入局いたしました。初期研修の間にローテートする診療科それぞれに強み、良さ、面白さがあると思います。総合診療科の強みは、患者様の悩みや訴えに専門外と言わずに、向き合って行けることだと思います。患者様にとって身近でなんでも相談出来る医師、という理想の医師になるには総合診療科だと思い、入局しました。幅広い悩みや訴えに対応出来るような教育体制や症例が集まっているところや、アットホームな雰囲気の医局も当院の総合診療科の魅力です。病棟、外来、ERを通して毎日学びの連続です。是非1度見学に来て、当院の総合診療科を体験してみてください！

Harutaka Inoue

井上 陽嵩



レジデント/専攻医
出身大学：関西医科大学

専攻医1年目の井上陽嵩です。関西医科大学での初期研修を終えて総合診療を志し、風の噂で大阪医科薬科大学が有名だと聞きつけ、川を渡ってやってきました。様々な考えの輩が集まり、忌憚なく意見を述べあう土壌の中で、延々と広がる臨床の森を緊張と高揚を保ちながら冒険するのもまた人生の興でしょうか。時間とともに磨かれた石は一つとして同じ形はなく、七色の光を放ちその袂を照らします。その中に燃える火でどここの世界を焼べるのか、お会いできる日を楽しみにしています。

Yuko Ohnishi

大西 裕子



レジデント/専攻医
出身大学：徳島大学

患者様の身体とメンタル両方診る事が出来る医師になりたいと思い、総合診療科を目指しました。一人一人同じ症例が無く、日々勉強させていただいております。あなたの専門医になれるよう頑張っていきたいと思います。まだまだ未熟な部分が多く、先生方の指導の下、研鑽を積んで参りたいと思います。よろしくお願いします。

Ryo Kimura

木村 諒



レジデント/専攻医
出身大学：東北医科薬科大学

2025年4月から入局した木村です。東北医科薬科大学を卒業して初期研修は市中病院で過ごしました。もともと臓器というよりも患者さん自身を全体的に診て、生活が上手くできるように後ろから支えることができる存在になりたいなと思ってました。ここの医局を見学した時に和気あいあいとした雰囲気非常に相談もしやすく、でもしっかりと指導いただけそうなところだったのでここに入局しようと決めました。僕は働く上では雰囲気というのも大事な要素だと思ってます。ただそれだけは人によって感じ方も違うと思うのでぜひ実際に見学して上級医の診療力の高さとこの雰囲気を肌で感じてほしいです！総合診療科に興味がある方、ない方、どんな方でもぜひお待ちしております！

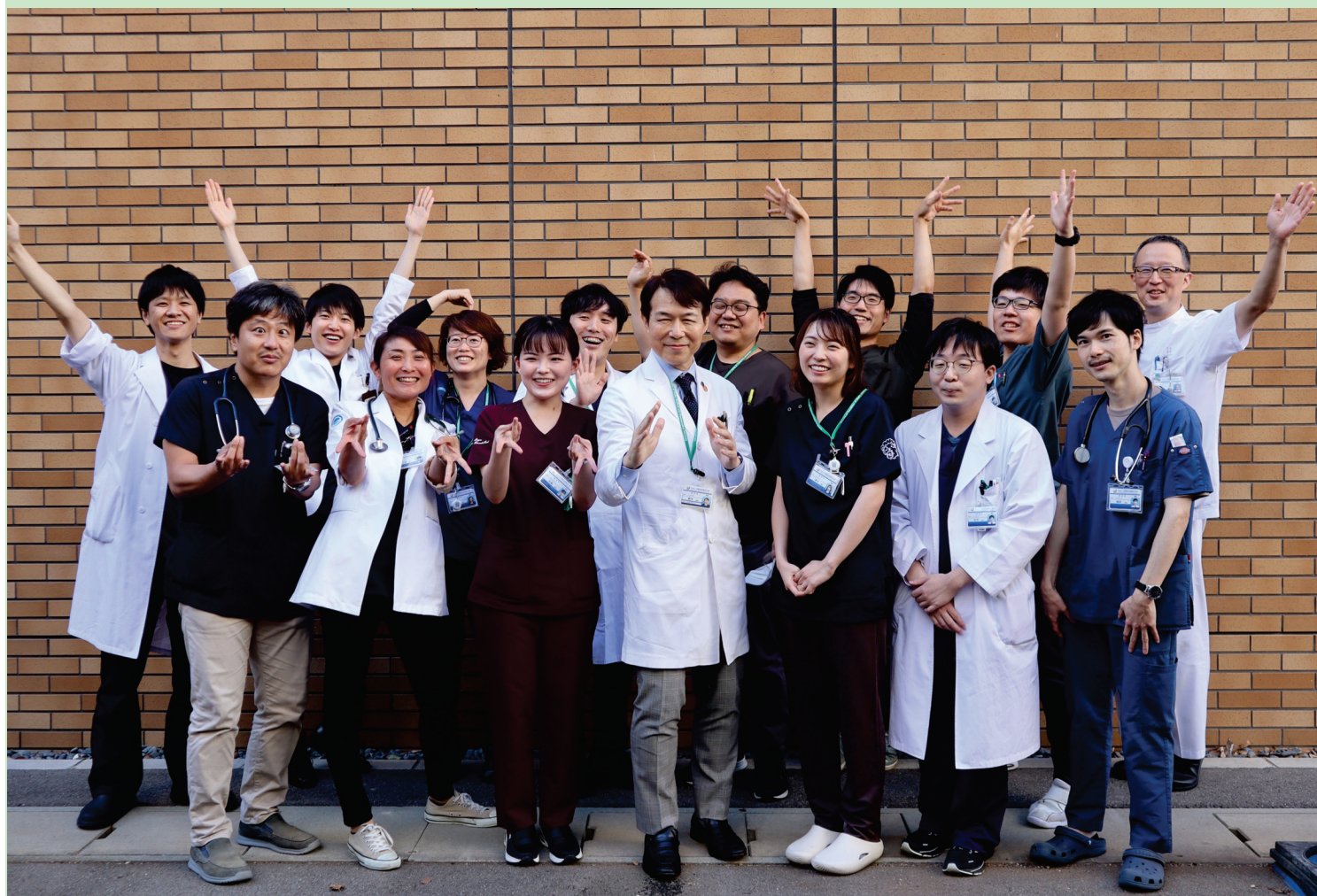
Tomoki Kobayashi

小林 知貴



レジデント/専攻医
出身大学：神戸大学

専攻医1年目の小林知貴です。私は出身大学での初期研修の後、2025年に入局いたしました。進路に迷いまくった研修医時代でしたが、「今後は複数疾患を抱える高齢者が急増すること」「クリニックから大病院まで医師として幅広い選択肢が取れること」を考え、当院の総合診療科に飛び込みました。ほぼゼロからのスタートでしたが、優しい同期と個性豊かな先生方のもと、メキメキ成長を実感しております。「時代は総診」と勢いで決めた入局でしたが、間違いではなかったと思います。少しでも興味のある方、ぜひ見学お待ちしております！



研修プログラムの一例

例①

へき地研修 1年 バージョン

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
専攻医 4年目	家庭医療Ⅰ or 家庭医療Ⅱ ※3年目までで研修をクリアしているので、自由に組めます。											
専攻医 3年目	総合診療Ⅱ 家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科			小児科 市立ひらかた病院			救急科 高槻病院			総合診療Ⅱ 家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科		
専攻医 2年目	総合診療Ⅰ 家庭医療Ⅰ（へき地研修） 本山町立国保嶺北中央病院〔高知県〕											
専攻医 1年目	内科 大阪医科薬科大学病院総合診療科											

家庭医療専門医取得

総合診療専門医取得

例②

へき地研修 6か月 バージョン

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
専攻医 4年目	家庭医療Ⅰ 葛西医院											
専攻医 3年目	総合診療Ⅱ 家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科			小児科 市立ひらかた病院			総合診療Ⅱ 家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科					
専攻医 2年目	総合診療Ⅰ 家庭医療Ⅰ（へき地研修） 本山町立国保嶺北中央病院〔高知県〕						総合診療Ⅱ 家庭医療Ⅱ 大阪医科薬科大学病院 総合診療科			救急科 高槻病院		
専攻医 1年目	内科 大阪医科薬科大学病院総合診療科											

家庭医療専門医取得

総合診療専門医取得

1年間産休と育休を取得される方、子育てしながら時短勤務でカリキュラム制に変更したい方、他領域の専門医や指導医を取得した後の方、他の診療科での臨床力を磨くために総合診療を学びたい方など、それぞれの人生プランに合わせたコースと一緒に考えます！

研修病院一覧

総合診療専門研修プログラム

総合診療I

密接に関連した診療所もしくは小病院で
Commonな症例を豊富に経験

総合診療II

研修の中心となる大学病院総合診療科で
ジェネラリストとしての根幹を確立

必須内科

大学病院専門内科での充実した指導体制下で
豊富な症例を研鑽

必須救急科

一次から三次まであらゆる症例に対応できる
救急診療能力を育成

必須小児科

外来から入院症例まで多彩な症例を経験

領域別研修

レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能

松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、
本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、
米原市地域包括医療福祉センター、大井田病院、
おく内科・在宅クリニック、葛西医院

大阪医科薬科大学病院総合診療科、市立奈良病院、
沖縄県立北部病院、大阪けいさつ病院、コープおおさか病院

大阪医科薬科大学病院専門内科各科、天の川病院、
洛和会丸太町病院、市立ひらかた病院、
高槻赤十字病院、金井病院

大阪医科薬科大学病院救命救急センター、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、
高槻赤十字病院、高槻病院

大阪医科薬科大学病院小児科、洛和会音羽病院、
市立ひらかた病院、市立奈良病院、
公立神崎総合病院、高槻赤十字病院、高槻病院

大阪医科薬科大学病院専門各科、しもむら内科クリニック、
かとう内科並木通り診療所

家庭医療専門研修プログラム

家庭医療I

密接に関連した診療所もしくは小病院で
Commonな症例を豊富に経験

家庭医療II

研修の中心となる大学病院総合診療科で
ジェネラリストとしての根幹を確立

松本ほがらかクリニック、公立神崎総合病院、
本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、
米原市地域包括医療福祉センター、
おく内科・在宅クリニック、葛西医院

大阪医科薬科大学病院総合診療科、市立奈良病院、

多彩な教育

1 専攻医による研修医のためのレクチャー

医師としての必要な考え方や知識をコンパクトに凝縮した濃厚な時間です。専攻医が教えることで、専攻医にとっても、そのトピックの勉強にもなります。



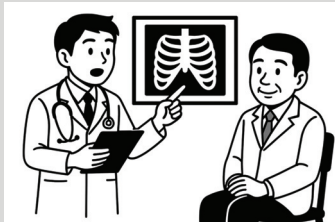
2 ベットサイドティーチング

診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、入院中の患者に対して一人一人時間をかけて回診します。ベットサイドティーチングの神髄がここにあります。



3 入院カンファ

研修医や専攻医が受け持ちの入院症例をプレゼンした後、参加者全員でディスカッションをして議論を深めます。診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。



4 救急・外来カンファ

救急当直や外来での興味深い症例の共有や、治療方針の決定の相談など、何でも気軽に議論のできる場です。たくさんのクリニカルパールが示される大変有意義なカンファレンスです。



5 臨床推論カンファ

専攻医が持ち回りで、教育的な症例を発表し、専攻医の業務中のカンファレンスではできない、じっくりと臨床推論について議論するカンファレンスです。



6 ポートフォリオ発表会

専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを共有します。



7 レジデントデイ

スタッフや上級医が持ち回りで、家庭医療に必要な考え方や技能を学ぶために、現場を離れてじっくり学べる時間を確保しています。



8 漢方レクチャー

日本プライマリ・ケア学会指導医で日本東洋医学会漢方専門医でもある漢方の達人、下村先生による、非常にわかりやすい漢方レクチャーです。証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。



大阪医科薬科大学病院総合診療科のSNSご紹介！



大阪医科薬科大学総合診療科

100人参加しても大丈夫YouTube症例検討会 : 2025年2月
304 回視聴・3 か月前 に配信済み

研究者必見！助成金申請書添削ライブセミナー :
299 回視聴・4 か月前 に配信済み

特別LIVE企画！病棟で困る老年医療のことをハーバード大学の樋口先生に聞いてみた！ :
100人参加しても大丈夫YouTube症例検討会 : 2024年1月

FREE PRINTABLE INVITATION - DREVIEW.COM

Instagram

ompu.gm

238.640 Me gusta

レジデント募集要項

応募資格	1.医師免許を有している者 2.2026年3月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3.臨床研修修了後5年を経過していない者
研修開始日	2025年 4月 1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 2025年9月20日(土) 第2回目 2025年10月18日(土)※ 第3回目 2026年1月17日(土)※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある診療科のみ実施)
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 2025年 7月28日(月)～2025年 9月 3日(水) 必着 第2回目 2025年 9月24日(水)～2025年10月10日(金) 必着※ 第3回目 2025年12月 8日(月)～2026年 1月 9日(金) 必着※ (※第2回・第3回は募集定員に空きがある診療科のみ実施)
問い合わせ先	大阪医科薬科大学病院 総合診療科 gmd@ompu.ac.jp

総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。
詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。